

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ① 軽舞事務所「特別開放事業」
- ② 「あつまるねっと」募集について
- ③ 土器づくりのお知らせ／あつま田舎まつりパレード盛り上げ隊／いけばな親子教室
- ④ 第36回さわやか町民登山会／町内小中学校教科書展示会／4月定例教育委員会
- ⑤ 図書室だより
- ⑥ 放課後子ども教室活動紹介

軽舞遺跡調査 整理事務所 好評だった春の特別開放事業

軽舞事務所は通常平日のみの一般公開を行っていますが、5月6日（月・祝）には春の特別開放と厚真懐かしのスライド上映会を行い、35人（町民19人、道内16人）が来館しました。

旧軽舞小学校の体育館などに保管している町民の皆様から寄贈いただいた郷土資料に見て触れることで、子どもたちは見たことのない道具に目を輝かせ、大人たちは懐かしさで当時の記憶がよみがえり、思い出話に花が咲いていました。

厚真町出身の方は、土器や石器のほか、懐かしい郷土資料を手に取り、触れることによって、あらためて厚真のすばらしさを知ることができたと喜んでいました。また、札幌から見学に来た5人家族は、子どもが黒電話をかけてみるなど初めての体験もあり、大人も一緒に楽しむことができたという好評でした。

特別開放にあわせて行った厚真懐かしのスライド上映会は、町の広報が撮影した1980～90年代、今から約40年前の写真を約200枚上映し、当時の建物や街並み、イベントのにぎやかさに会話がはずんでいました。



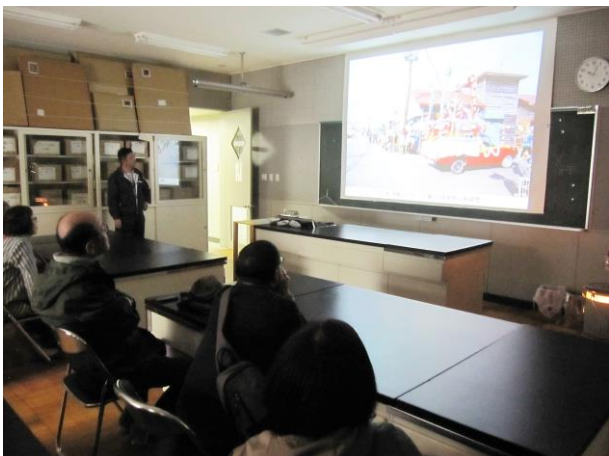
← 入口の土器や石器の見学

軽舞事務所では、土器や石器も実際に手に取って見ることができ、数千年前の厚真の歴史に思いをはせることができました。



↑ 特別収蔵室の見学

厚真町にしかないアイヌ民族の歴史を伝える約800年前の出土文化財に興味津々でした。



← 懐かしのスライド上映会

昭和50年代の田舎まつりや運動会、町や学校のイベント、街並みを見て、たくさんの思い出話しや活気ある厚真を振り返る良い機会になりました。

地域の先生になりませんか？

あつまるねっと大募集中です！

「あつまるねっと」とは？

「あつまるねっと」とは、地域と学校がパートナーとなって厚真町の子どもたちの学びと育ちを応援する仕組みです。子どもたちと一緒に活動したり、学びの環境をつくったりするための“地域ボランティア活動”の一つであり、老若男女、多世代にわたって活動するネットワークです。地域の方々が持っている知識や知恵、技能、技術（下記参照）など、学校等での教育活動や子どもたちの成長を見守る活動を支援するための人材バンクでもあります。

子どもを育てる環境づくりを進めるためには、様々な場面で活躍いただける方々が必要です。特別な資格などは必要ありません。「できるときに」「できることから」「できる範囲で」、「子どもたちのために何かしたい！」という気持ちがあればどなたでも参加できます。

具体的な活動例の紹介

- ＊学習支援活動：読み聞かせ、教科学習の補助、クラブ活動の指導、伝統芸能・文化活動、地域の歴史や文化に関するお話、サーフィン・水泳・スケートなどの体育指導補助、陶芸指導、農業・林業・漁業・商工業などの体験的な活動の指導、ミシン・裁縫の指導、パソコンに関する指導など
- ＊学校環境整備：花壇のお手入れ、樹木の剪定、草刈り、校舎内外の施設整備、雪かき、図書ボランティアなど
- ＊学 校 安 全：通学路の安全指導、登下校の声かけ、防犯巡回、校門でのあいさつ運動など
- ＊その他の活動：部活動の指導・指導補助など



ビーチクリーン活動（上小）



キャリア教育（厚真中）

地域全体で、子どもたちが育つ環境を創っていきましょう！



ローカルベンチャーの話（厚南中）



ミシン指導
（中央小）

登録については、申請書への記入が必要となりますので、まずは教育委員会までお問い合わせください。その他、ご不明な点等についてもお問い合わせをお願いいたします。

教育委員会社会教育グループ（事務局） ☎ 27-2495

「土器づくり体験」のお知らせ

軽舞事務所も
見学できます！



世界遺産として注目されている「縄文」の器、土器づくりを開催します。縄目文様をつけた世界に一つだけの土の器をつくってみませんか？

- ◆日 時 6月9日(日)
10時00分～12時30分
- ◆場 所 軽舞遺跡調査整理事務所
- ◆定 員 先着20人程度(年齢制限なし)
※小学3年生以下は保護者同伴
- ◆参加費 無料
- ◆申込・問合せ 軽舞事務所 ☎28-2733
メール shakai@town.atsuma.lg.jp
- ◆その他 9月には軽舞のグラウンドで土器の野焼きも行います。



過去に開催した「土器づくり体験」の様子

★あつま田舎まつりパレード盛り上げ隊★ 今年もやりますよー！

今年も、厚真町の一大イベントである「第52回あつま田舎まつり」が開催されます。新型コロナウイルスの影響で3年間実施されていなかったパレードでしたが、昨年度から復活したことを受けて、教育委員会では子どもや保護者、地域の方々と一緒に「田舎まつりパレード盛り上げ隊」という取組を、昨年度から実施しています。昨年度は、小中学生の他、保護者や学校の先生、そして地域の方々と共に約30人が参加し、見事、実行委員長団体賞を受賞しました。今年度も、みんなで楽しく伝統的のある「田舎まつり音頭」を踊る活動を通して、お祭りの雰囲気を感じる存分味わう時間にしたいと思います。



昨年度のパレード盛り上げ隊の様子

参加を希望する町民の方は、右記ホームページをご確認の上、下記の連絡先までお問合せください。
【問合せ】社会教育グループ ☎27-2495



詳細情報(ホームページ)

令和6年度文化庁伝統文化親子教室事業

いけばな親子教室



今年度も「いけばな親子教室」を開催します。日本の伝統文化である「いけばな」を通じて、楽しくお花とふれあってみませんか？

- ◆主 管：厚真地区伝統文化いけばな親子教室
- ◆初回開催：6月15日(土)全7回を予定
※日程の詳細は、青少年センター内の案内チラシをご覧ください。
- ◆場所・時間：青少年センター2階 10時00分～11時00分
- ◆材 料 費：1回 900円(花代実費)
- ◆持 ち 物：タオル(ふきん) ※ハサミや花器は用意します。
- ◆対 象 者：未就学児～中学生および保護者
- ◆申込・問合せ：電話もしくは右記QRコードから申込み・お問合せください。
また、青少年センター内にある申込み用紙からも申込み可能です。
- ◆後 援：厚真町教育委員会



LINE アカウント↑
「いけばな教室 厚真エリア」

指導：小原流苦小牧支部厚真地区講師
上田 ☎090-5077-8279

お花は
持ち帰りできます

第36回 さわやか町民登山

今年で36回目を迎える町民登山会
 自然の美しさ、厳しさを味わえる絶好の機会です
 ぜひ、ご参加ください！



- ◆主 管 あつま山の会
- ◆共 催 厚真町教育委員会、厚真町体育協会
- ◆と き 6月30日(日) 6時00分 総合福祉センター前集合
 17時30分 帰着予定
- ◆行き先 徳瞬瞥山(1,309m)・ホロホロ山(1,322.4m)
- ◆持ち物 ザック、昼食、副食類、雨具及び防寒着、水筒、軍手、
 ごみ袋、帽子、タオル、着替え、虫よけ等
- ◆服装等 登山に適した服装、靴は登山靴または運動靴で履きなれたもの
- ◆定 員 30人(小学生以上対象、小学生は保護者同伴)
- ◆参加料 記念品及び保険料(当日の朝徴収)
 大人(中学生以上)1人1,000円、子ども(小学生)1人500円
- ◆その他 雨天の場合は中止(当日の朝連絡)
- ◆申込み 6月24日(月)までに電話等で申込み
 スポーツセンター ☎27-3775

町内小中学校教科書展示会の開催

教育委員会では、今年度、町内小中学校で使用している教科書の展示会を下記のとおり開催します。

教科書展示会は、教科書の適正な採択のために設けられた制度で、例年6月に全国的に行われています。子どもたちが使用する教科書を、教育関係者だけでなく、保護者や地域の方々にも閲覧していただくことで、学校教育への理解を深めてもらうことも目的としています。

◆展示期間

6月14日(金)～6月27日(木)

9時00分～17時00分

(火・木曜日は19時00分まで)

※土・日も開催しています。

◆と ころ 厚真町青少年センター

★問 合 せ 学校教育グループ

☎27-2494

4月定例教育委員会

◆報告事項

各学校の教職員・児童生徒数について／4月校長会議・教頭会議について／厚真町教育研究所第1回運営委員会(4月18日開催)について／浜厚真野原公園サッカー場、上厚真・新町・本郷いこいの森パークゴルフ場、かしわ公園野球場オープンについて／厚真町文化協会主催「(仮)加藤登紀子さんコンサートの実施について」／厚真町文化祭の方向性について

◆議案

厚真町立中学校に係る部活動の方針の改定について(他1件)

★問合せ

学校教育グループ

☎27-2494



図書室だより

青少年センター図書室

☎27-2495

6月は 環境月間 です



環境月間特集展示「水のことを考えてみよう」

地球上の水14億立方キロメートルのうち、約97%は塩水、約3%が淡水と言われています。また、淡水のうち、私たちが暮らしに利用できる水は、0.008%です。お風呂を地球上の水の量とすると、0.008%の水の量は大きさ1杯程度です。水道をひねるといつでも水を使用することができますが、排水は海へとつながっています。海や川の生き物や環境などの本や図鑑を展示しますので、今年は水について考えてみませんか？

展示場所: 青少年センター入口展示スペース

展示期間: 6月1日～30日まで

おはなしのびっ子を 聞きに来ませんか？

子育て支援センター以外にも、青少年センターの絵本コーナーでもおはなしのびっ子を開催しています！6月は会場が青少年センターとなっています。10時すぎまでのご参加も、途中退席も大丈夫ですので、お気軽にお越しください。

開催日：第4木曜日

毎月会場が変わりますので、詳しくはマナビィカレンダーや生涯学習だよりをご確認ください

対象：就学前のお子さんご家族

新刊案内 貸出中の本は予約できます

★61歳で大学教授やめて、北海道で「へき地のお医者さん」はじめました 香山リカ著
穂別診療所で働くきっかけや動機などを語る本。

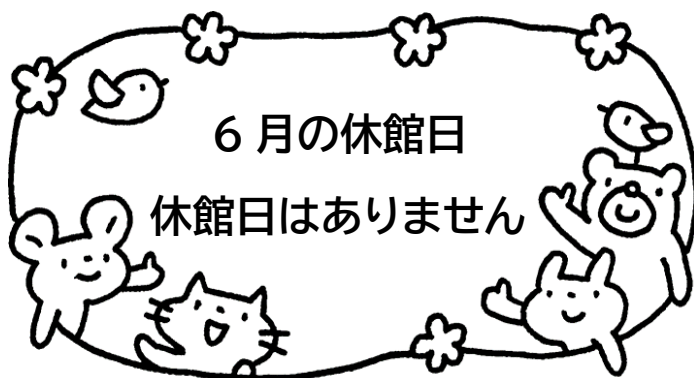
★バッタを倒すぜアフリカで

前野ウルド浩太郎著

前著「バッタを倒しにアフリカへ」の続編。新書なのに、600ページを超えた本。

★ひき石と24丁のとうふ 大西暢夫著・写真

岩手県二戸市でお豆腐を作っている、90歳のミナさんのお仕事風景の写真。すべて手作業のため、24丁しか作ることができない。



■青少年センター図書室開館時間

9時00分～17時00分(月・水・金・土・日)

9時00分～19時00分(火・木)

※祝日、年末年始は休館となります。

■厚南会館図書室

9時00分～17時00分(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

6月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、

27日(木) 10時00分から10時30分まで

場所：青少年センター 絵本コーナー



☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

桜やコブシに続き、レンギョウ、ツツジ、足元にはチューリップや菜の花と、白い雪の季節から一気に色づく北海道の春。新緑もまぶしく、また、水が張られた田んぼに、小さな苗が行儀良く、真っ直ぐ居並ぶ様子を目にすると、生命力あふれる季節へと動き出していることを感じます。そこはかとなく、心も弾む春の陽気です。

ゴールデンウィークが終わり、今年も新1年生の子ども教室への参加が始まりました。真新しいランドセルを背負った1年生が、ドキドキとワクワクを携えて「今日から子ども教室に行けるの!」と笑顔でやってくる姿は、毎年、心躍る瞬間です。1年生の参加初日は、スタッフの紹介や、子ども教室での過ごし方など、簡単なオリエンテーションを行い、1年生から3年生まで、この1年をともに過ごす仲間として、子ども同士がなじめるよう、コミュニケーションを促進するゲームを行いました。お題カードに書かれた人を探してくる『借り人競争』では、「5月生まれの人はいますか?」「野球が好きな人はいませんか?」と、自分が手にしたカードに書かれた内容に合う人を求めて声をかけ、巡り合ったパートナーと一緒にゴールを目指して走ります。にぎやかな笑い声の溢れる時間になりました。この時期は初めての経験に緊張していたり、異なる学年のパワーに圧倒されていたり、環境に慣れるまでには、少し時間がかかると感じています。今後、ますますパワフルさに磨きがかかる姿を想像しながら、まずは子どもたちとの信頼関係を築いていきたいと考えています。また、1年生だけではなく、2～3年生の行動や心にも目を向け、声に耳を傾けられるよう、スタッフ同士のコミュニケーションをしっかりとっていかうと思います。

身近な自然環境に、春ならではの出会いを求めて、学校周辺の探検に出かけた月。足元に小さく咲き始めた野の花を集めたり、木登りをしたり、子どもたちは自分の感性に合う素敵なモノをたくさん見つけました。そんな中、子どもたちから一番リクエストが多かったのは、行者ニンニク探しです。春に出かける森遊びは、いつの間にか行者ニンニクをおみやげに帰ってくることが、子ども教室・春の風物詩となりました。今年は新たな収穫スポットも発見し、子どもたちも大喜び。保護者の皆さんご迷惑にならないかと、内心ドキドキしながらも、子どもたちがイキイキと森遊びを楽しむ姿を前にすると、どうか許していただきたいと願うのでありました。今年も旬の森の恵みに出会えたことに感謝です。

